

# ヤマメ大まぐ育ち

298.8/58  
稚魚8500匹放流

日南広瀬川協  
漁

日南広瀬川漁協(白田組)員280人は、日南市の河川にヤマメ稚魚8500匹を放流した。

毎年この時期に実施。この日は、県北の養魚場から購入した体長8センチの稚魚を、組員4人で広瀬川の2カ所

に4500匹、瀬谷川の2カ所に4千匹放した。

午前9時に北郷小中裏の水と干草をいれ、公園に集結した。組員は広瀬川上流へ。広瀬川の河川敷に到着すると、白田組会長ら2人がバケツで500匹を放した。体制

に鮮やかな斑紋を浮かべた。魚は、瀬原の広い流れに散らすと見えなくなった。

ヤマメは、一生を河川で過ごすヤマメの呼び名。体側にはバーマークという小刺状の斑紋がある。成長とともに斑紋は薄くなり、最大40センチに育つ。

白田組会長は「釣る際は鑑札を持つなどルールを守って資源保全に努めてほしい」と話している。



広瀬川にヤマメ稚魚を放流する日南広瀬川漁協の白田組会長(左)